

多賀城市震災復興計画(案)に係わる意見交換会

多賀城市震災復興計画（案）について、市民の皆様にお知らせするとともに、今後の復興やまちづくりに対するご意見をいただくため、次のとおり意見交換会を開催しました。

日時	地区	会場	参加者
11月12日(土曜日) 13時～15時	①大代、笠神の各区	大代地区公民館	42名
11月12日(土曜日) 19時～21時	②宮内、明月の各区	市民活動サポートセンター	64名
11月14日(月曜日) 19時～21時	③栄、桜木の各区	市民活動サポートセンター	62名
11月15日(火曜日) 19時～21時	④八幡、町前の各区	市民活動サポートセンター	16名
11月18日(金曜日) 14時～16時	⑤山王、南宮、新田、高橋の各区	山王地区公民館	20名
11月18日(金曜日) 19時～21時	⑥鶴ヶ谷地区、地区指定無し	市民活動サポートセンター	11名
計			215名

意見交換会の進行内容

1. 司会進行者挨拶
2. 開会の挨拶（菊地市長）
3. 意見交換会関係者の紹介
4. 震災復興推進計画（案）の説明
5. 災害公営住宅についての説明
6. 震災復興計画（案）に関する意見交換
7. 台風15号に係わる被災状況と今後の下水道事業についての説明
8. 台風15号に関する意見交換
9. 閉会の挨拶

なお、各会における参加者の意見ポイント及び詳細は、次頁以降のとおりです。

—市民意見交換会①—

平成 23 年 11 月 12 日 13:00～15:30

大代地区公民館 2階

日時	地区	会場	定員	参加者
11月12日(土曜日) 13時～15時	大代、笠神の各区	大代地区公民館	60名	42名

震災復興計画（案）等に対する参加者意見ポイント

- ・ 大代地区における減災対策の充実について
- ・ 大代地区における災害危険区域指定の確認について
- ・ 貞山運河の整備について
- ・ JXの火災を受けた今後の対策について
- ・ 家屋の解体期限の延長の要望について
- ・ 隣接のポンプ場の当時の稼働状況について
- ・ 未整備のポンプ場又は幹線水路の整備について
- ・ 大代地区への転入者に対する災害の可能性の説明・指導の要望について

詳細は以下のとおり。

多賀城市震災復興推進計画（案）等についての意見交換

1番 意見者

質問1 復興推進計画のイメージでは、仙台港、貞山運河、砂押川が切れたように表現されていますが、震災当時は塩釜市の方からと仙台港の方からの波がぶつかり、大代の浸水となったと思います。このため、つながりがあると思いますがいかがでしょうか。

質問2 つながっているとしているのであれば、今回の震災と同様に仙台港から、塩釜市の方から津波が来ると言うことでしょうか。

1番 回答

回答1 復興推進計画のものは、デフォルメしたイメージを作成していますが、仙台港、貞山運河、砂押川がそれぞれ切れているというものではありません。トータルに河川等の護岸を整備していくこととしています。

回答2 計画にあります防潮堤等の整備を行っても、千年に一度といわれるような津波の場合には、浸水してしまうというのが現実で、完全に防ぐということは困難と考えていますが、現在の堤防等の高さを上げるため、県と協議を進めてまいります。

2番 意見者

質問1 市内に流入する津波については、多重防御で防ぐようですが、大代は砂押川と貞山運河の整備ということで多重防御となっていません。千年に一度と言われましたが、今後は何が起きてもおかしくありません。このようなことを考えると大代地区は災害危険区域ではないでしょうか。大代地区は、緑地公園により減災するはずでしたがこれが機能せず今回の被害にあったと思いますので、多賀城市として災害危険区域を指定する必要があるのではないのでしょうか。

質問2 砂押川などの河川堤防はどの程度の整備を行うのでしょうか。

2番 回答

回答1 災害危険区域を指定しますと、建築基準法に基づき当該地区には住宅などが建築できず、住むことができなくなってしまいます。多賀城市としては、全てを防ぐということはできませんが、千年に一度来ると言われる津波に対して、浸水の深さを2m未満にし、水の流れを遅くすることにより、皆様の居住を極力守っていきたいと考えています。

回答2 砂押川などの護岸については、宮城県と協議をしているところではありますが、仙台港を取り囲む高さの整備と同じ高さで念仏橋までの整備としており、塩釜港のほうから貞山橋については、津波シミュレーションの結果から整備を予定しているようです。詳細については、宮城県の設計協議に参加し、可能な限り高くしていくように依頼してまいります。

3番 意見者

質問1 JX日鉱日石が全て爆発したら、多賀城市内は全滅と噂を聞いたが、大代地区は隣あわせの位置にあります。そのような場合に防災対策はどう考えられているのでしょうか。

質問2 大代地区公民館を修理すると聞いていますが、津波が来ても避難できる設備をお願いしたいと思いますが。

3番 回答

回答1 JX日鉱日石については、行政として協議していませんが、地元の大代地区防災協議会がJX日鉱日石を呼んで討論会を実施し回答を求められたと聞いています。この回答が昨日協議会に対して送付されているとお思いますので、この内容をご確認下さい。また、JX日鉱日石のまわりについては、グリーンベルトがありますので、これがある程度、防御になると考えています。

回答2 大代地区公民館ですが、河川堤防が整備されれば、今回のような浸水までは行かないと思われませんが、多賀城市の避難所としては東小学校が指定されております。大代地区公民館については、今回くらいの災害ですと対応が難しいのではないかと考えます。

4番 意見者

質問1 短期、中期、長期における防災・減災の計画は、大変に希望を持てるプランだと思います。要望ですが、多賀城市シルバーヘルスプラザは非常に誇れる施設と思います。現在、一部入浴機能が損なっている家もまだ存在している中で、入浴を可能としていただいておりますが、時間に制約があり、利用者としてはもう少し何とかならないかと思えます。このため、当施設の運営について、民間やNPOなどを活用してはどうかと思えます。

質問2 また、砂押川の整備が進んでいるようですが、堤防の上を自転車道などとして、下の道路を自動車道としてはどうでしょうか。

4番 回答

回答1 シルバーヘルスプラザについては、指定管理者制度により、社会福祉協議会が運営しております。今回のご要望を基に、利用者を意識した工夫を行うように協議させていただきます。

回答2 砂押川の整備は、現在までに宮城県で応急工事が完了し、これから復旧工事を進めていくこととなりますので、この工事内容について県のほうに確認した上で回答させていただきます。

5番 意見者

質問1 大代地区については、緩衝緑地がありますが、嵩上げを2.5~3mを行っていただければ、大代地区はかなり減災されると期待できますが、いかがでしょうか。

5番 回答

回答1 一度、持ち帰った上で嵩上げを検討させていただきます。

6番 意見者

質問1 JX日鉱日石の火災については、早急に消火する設備の充実が必要と思います。石油に延焼した場合には泡消火では間に合わないので、その前に対策をしていただきたいと思います。

6番 回答

回答1 JX日鉱日石に対して、防護服などについて確認した上で回答させていただきます。

7番 意見者

質問1 貞山運河の高さについて、2～3mを積むということでしょうか。

7番 回答

回答1 現在、県にて堤防の高さを検討しています。多賀城市としては、できる限り高くするように依頼してまいります。

8番 意見者

質問1 家屋の解体期間ですが、来年の4月から5月くらいまで可能としていただけないでしょうか。

8番 回答

回答1 多賀城市としては、期間延長を申し入れています。他の被災都市でも困難が予想されているので、一緒に国に働きかけてまいります。

9番 意見者

質問1 砂押川、貞山運河の要望をしていくといわれましたが、河川の堤防を嵩上げすると川沿いの生活者に影響があると思うので考えていただきたい。河川沿いの方々は建て直しを決めかねているので、いつまでにどのような堤防とするのかを教えてください。

質問2 砂押川の整備が全面的で貞山運河の整備が見えてきません。

9番 回答

回答1 砂押川、貞山運河の整備については、国の承認を得ていないと思いますので、具体的な整備時期、どのような高さでの整備を実施するか、多賀城市としても早い段階で情報を入手し、ご報告させていただきます。

回答2 砂押川の指定がどこまでの区間であるか確認して、ご報告させていただきます。

10番 意見者

質問1 台風15号（9月20日）までに床を張り替えた人が、台風でまた床を水が超えた。ポンプ場のスイッチが遅れたと聞いているがどうか。

質問2 震災により地盤沈下していると思うが、今までより大雨などの浸水水位が高くなっていると思うが、ポンプ場の整備はいつ頃となるのか。

10番 回答

回答1 大代ポンプ場については、動いていなかったのではなく、自動運転の装置が3月11日に被災したため、現在は降る雨状況により、適宜手動で動かしています。起

動が遅れたとは考えていません。

回答2 大代ポンプ場の整備時期については、下水道全体の見直しを行った上で整備していく予定と考えています。

11番 意見者

質問1 台風15号(9月20日)で行政の指導で避難場所(体育館)から食事が出なかったと聞いていますがどうか。

11番 回答

回答1 事実関係を確認させていただき、ご報告させていただきます。

12番 意見者

質問1 大代がこのような天災で被害にあう可能性について、転入者や不動産業者に対して状況を理解してもらう必要があると思います。天災を何とかしろというのを、行政の方に要望してもどうにもならないと思いますので。行政からの指導をお願いしたいと思います。

12番 回答

回答1 要望ということで受け承らせていただきます。

13番 意見者

質問1 丸山ポンプ場があるから大丈夫であると聞いていたが、私は水害がこれで4回目です。丸山ポンプ場は動いていたのですか。

13番 回答

回答1 丸山ポンプ場は動いていました。ただし、県道の横断管の整備などが済んでいませんし、震災の時の地盤沈下などトータルに判断して整備をしていきたいと思えます。現在の状況では、雨量何mmで危険と言えない状況にあります。

14番 意見者

質問1 マンホールから雨水が噴水のようなになったが、これはなんとかならないか。

14番 回答

回答1 後ほど場所をお聞きし、早急に現地を確認させていただきます。

15番 意見者

質問1 台風15号の全体被害はわかりましたが、大代地区ではどの程度であったか教えてください。

15番 回答

回答1 個別の資料を準備していないので、後日ご報告させていただきます。

—市民意見交換会②—

平成 23 年 11 月 12 日 19:00~21:00

市民活動サポートセンター 3階

日時	地区	会場	定員	参加者
11月12日(土曜日) 19時~21時	宮内、明月の各区	市民活動サポートセンター	80名	64名

震災復興計画（案）等に対する参加者意見ポイント

- ・ 海に近い地域であるため、防災無線の設置数の増加要望について
- ・ 避難道路について
- ・ 防災林の設置について
- ・ 災害公営住宅の入居期間について
- ・ 家屋の解体時の粉塵対策の要望について
- ・ 義援金、物資配布などに対する確認について
- ・ 浸水箇所の確認について

詳細は以下のとおり。

多賀城市震災復興推進計画（案）等についての意見交換

1 番 意見者

質問1 復興計画の説明に際して、防災無線を随所に今月中に設置すると聞いたが、宮内・明月地区で何基設置するのか。

質問2 現在、1箇所ついているが、宮内・明月は海に近いので少し多めに設置して欲しい。

1 番 回答

回答1 市内に52箇所設置し、行政区47のため、行政区に1箇所以上は設置します。

回答2 現在設置しているものは、とりはずした上で新しいものを設置します。

2 番 意見者

質問1 避難道路の要望です。道路が大変込んだと思います。多賀城市は東西は多いのですが、逃げる方向の南北は少なく狭いと思います。

質問2 計画内容の避難道路ですと端と端に設置され、当該地域は少ないと思います。

2 番 回答

回答1 仙台港から砂押川を越え、国府多賀城駅の方面へ向かう道路と、グリーンホテルの前から砂押川を越え、自衛隊の北部の道路に接続する道路を避難道路として整備します。

回答2 基本の考えとして、緊急時に自動車での避難にはいろいろとご意見があります。ただし、5分以内で避難いただくためには、一時的な避難空間として避難ビルの確保を進めていきます。

3 番 意見者

質問1 災害公営住宅は、10年後出て行かなければならないのでしょうか。

3 番 回答

回答1 10年後に出て行っていただくということではありません。通常の市営住宅として取り扱っていくこととなります。

4 番 意見者

質問1 多重防御ということであるが、宮内は防災林がないのでは。

4 番 回答

回答1 宮内地区については、八幡公園通りの南となってしまうため、宮内地区の南に防災林・盛土による公園を整備していきたいと思います。また、あわせて宮内において、災害公営住宅を設置していきたいと思います。

5 番 意見者

質問1 仙台とかでは、シミュレーションによって建築がダメということであったが、ど

ういうことか。

5番 回答

回答1 国土交通省がシミュレーション分析をしているが、多重防御で荒浜などにおいては海から直接津波が来てしまうため、津波の浸水深が概ね2m未満にならないということで、仙台市では集団移転せざるを得ないと聞いています。

6番 意見者

質問1 本日の説明会ですが、どのように知らせていただいていたのでしょうか。

質問2 全世帯にチラシを配布しているのであれば、郵便で送付いただかないと届かないと思います。

6番 回答

回答1 全世帯にチラシを配布し、ホームページなどでも開催を記載させていただいています。

回答2 広報誌は届いていますでしょうか？広報誌が届いていないようであれば、後ほど連絡先の住所を教えてくださいますようお願いいたします。

7番 意見者

質問1 多賀城市では、集団移転は考えないのですか。

7番 回答

回答1 災害危険区域の検討やアンケートの結果などを熟慮した上で、多重防御による減災対策による現地再建を行うこととしました。

8番 意見者

質問1 千年に一度の津波といっても、明日かもしれない。税金を支払っているのだから、もっとざっくばらんに市の方と意見を交換したい、そして現地で再建というのは難しいと考えます。

8番 回答

回答1 仙台市や石巻市では集団移転をやっていくと言っていますが、全ての人に移転していただかないといけない。ローンを抱えている人などは現地で再建するしかないと考えている方などの意見も聞く必要があります。このため、現在の場所であると逃げる場所がないので逃げるところを整備していきたいと思います。なお、宮内については、11月27日にあらためて相談したいと思います。

9番 意見者

質問1 八幡通り公園とは、現在のどこでしょうか。

質問2 八幡通り公園より宮内は南ですが、車とかの漂流物が流れてくるので再建できない。

9番 回答

回答1 八幡神社の北の高圧線の通っている道路です。

回答2 宮内については、八幡通り公園でなく、宮内地区の南に盛土機能を備えた鎮魂の

森として整備し、漂流物などを流入しないようにしていきたいと考えています。

10番 意見者

質問1 多賀城市ではかなり被害を受けましたが、どの程度の被害か、そして義援金は支払われるのでしょうか。

10番 回答

回答1 被害状況は、復興計画(案)に10月20日時点の被害確認状況を示しています。ご確認ください。また、義援金については、半壊と判定された方以上の被害の方に配布しています。

11番 意見者

質問1 解体がだいぶ進んでいますが、解体の際にまわりを囲んで実施しているものと、していないものがあります。埃がひどいので考えていただきたい。

質問2 現在設置されている防災無線は、何を言っているか分からないので、伝えたいことをはっきりと言って欲しい。

11番 回答

回答1 解体については、内部の関係部署に伝えさせて対応させていただきます。

回答2 防災無線については、しっかりとしゃべるように教育するとともに、新たに設置するものは4方向に聞こえるタイプのもので、今後はもっと聞き取りやすいものとなると思います。

12番 意見者

質問1 現在の防災無線は聞き取れない、震災の時、ボリュームを上げたが聞き取れない。男性の声は聞きにくいので、女性の声の方が聞きやすいと思う。

12番 回答

回答1 今回設置するものは、コンピューターに入力した文字情報を音声に変えて放送することとなりますし、男性・女性のそれぞれのボイスが使えます。設置に際しては、テストを実施し、皆様のご意見を伺います。

13番 意見者

質問1 多賀城市における地震情報をもっと早く出して欲しい。

13番 回答

回答1 以前は、震度計が市役所の地下に設置されていましたが、現在は市民活動サポートセンターに設置されています。震度については、多賀城市がこの震度ですと報告しているのではなく、この震度計データが気象庁に転送されて発表されています。

14番 意見者

質問1 多賀城市から仙台市に避難したのですが、多賀城市から見舞金が出ると聞き、4月5日に市役所へ行ったら連絡しますと言って、現在に至ります。義援金ではなく見舞金です。

14番 回答

回答1 多賀城市では、見舞金は出していません。義援金を配布しています。おそらく当時は行政においても混乱している状況でしたので、見舞金と、義援金を勘違いしたものだと思います。

15番 意見者

質問1 宮内地区は、被災した人が多いが、市役所では被災した職員はいるのでしょうか。市民に対する市役所の職員の態度が市民の苦しみを分かっていると感じます。

質問2 借り上げに入居していますが、生活必需品の配布も不遇な状況です。仮設住宅の方々が優遇されているではありませんか。

15番 回答

回答1 正確な数値は、控えていませんが、市の職員においても津波で家族を失い、財産など被害を受けています。

回答2 仮設住宅は優遇されているということはありません。借り上げ住宅でも同じ扱いをさせていただいています。しっかりと対応させていただきます。また、生活必需品については、市役所の前の施設で対応させていただきます。さらには、市民サポートを民生委員通じて行っていきたいと思います。

16番 意見者

質問1 仮設住宅は、連絡が悪く困ります。各施設に来てやって欲しい。かなり不平等です。

16番 回答

回答1 本当に必要な人に対して、物資が行き渡るように検討していきます。

17番 意見者

質問1 遠隔地に住んでいる人への対応はどうなっているのでしょうか。ホームページなどの更新が頻繁でないため、情報が得られない。今回の意見については、11月25日で締切と言うことであるが、11月27日に説明会があると聞くと整合が図られていない。自腹で遠隔地から来ているのに被害者のことを考えているのか疑問である。

17番 回答

回答1 一般には11月25日に意見を絞めますとしていますが、11月27日については、さらに話を聞いた上で整理したいということです。

18番 意見者

質問1 県の借り上げで居住していますが、情報をしっかりと伝えて欲しい。

18番 回答

回答1 広報誌をしっかりと届けられるようにいたします。

19番 意見者

質問1 仙台市での借り上げの場合は、仙台市で備品等をお願いすればよいのか、多賀城

市でお願いすれば良いのか、統一して欲しい。

19番 回答

回答1 対応について混乱していますので、きちんと調査させていただきます。

20番 意見者

質問1 八幡神社から勾配がとれないため、水が流れていない。以前からお願いしているが、いまだにやっただけではない。早急の実施して欲しい。

20番 回答

回答1 早急に現場確認させていただきます。

21番 意見者

質問1 台風15号（9月20日）で一部浸水したところがある。

21番 回答

回答1 早急に現場確認させていただきます。

22番 意見者

質問1 台風15号（9月20日）の時、余裕のあった時間に消防車・市の車が来ていたが、「逃げてください」がありませんでした。なぜでしょうか。

22番 回答

回答1 市の雨情報は気象庁とグーグル、ウェザーニュースにより、広報車が回るようになっていました。市内の排水能力が時間雨量約50mm程度であるため、対応が可能と考えていました。お知らせが遅くなりましたことをお詫びいたします。今後は、防災無線を通じて早々にお伝えいたします。

—市民意見交換会③—

平成23年11月14日 19:00~21:30

市民活動サポートセンター 3階

日時	地区	会場	定員	参加者
11月14日(月曜日) 19時~21時	栄、桜木の各区	市民活動サポートセンター	80名	62名

震災復興計画（案）等に対する参加者意見ポイント

- ・ 災害公営住宅の入居要件と将来的な居住について
- ・ 情報提供の手段（防災無線等）について
- ・ 砂押川堤防決壊の原因、堤防強化について
- ・ 津波避難ビルの設置方法、設置箇所について
- ・ 雨水排水施設の整備状況について
- ・ ポンプ施設の管理、運用、稼動状況について
- ・ 汚水管への雨水流入について

詳細は以下のとおり。

多賀城市震災復興推進計画（案）等についての意見交換

1番 意見者

質問1 雨水施設は73%完了しているのですね。私は桜木で3回も浸水被害を受けていますが、この前の台風15号程度の雨が豪雨と言えるのでしょうか。あの程度の雨で八幡ポンプ場が機能しないのですか。本当に73%施設が完了しており、その機能があるのでしょうか。本当に安全、安心と言えるのでしょうか。

質問2 もう桜木には住みたくない思いです。3月11日、9月21日のような体験は二度としたくないです。八幡ポンプ場は本当に稼働しているのですか。

1番 回答

回答1 八幡ポンプ場は稼働していることは確認しています。9月20日から稼働しており、9月22日の午前3時40分まで断続的に5台稼働しています。

2番 意見者

質問1 本当の安全、安心なまちづくりをしているのか、と不信感を抱いています。被害当日は八幡ポンプ場に職員など誰もいなかったと思います。私はポンプが動いていなかったと思う。

2番 回答

回答1 八幡ポンプ場には職員が常駐しています。雨水排水施設については八幡ポンプ場そのものの整備や幹線排水路の整備は終わっていますが、枝線の整備が遅れていることが原因のひとつとも考えられます。

3番 意見者

質問1 先ほど「断続的に運転」という回答でしたが、なぜ断続運転なのでしょう。連続運転はできないのですか。

3番 回答

回答1 実際には連続運転しています。

4番 意見者

質問1 23時以降はすぐに水が引いたので稼働していたことは確かだと思います。過去の事例からもポンプが稼働していなければ、朝まで冠水しているはずですから。今回は、震災の影響があったので仕方がないと認識します。しかし、今後は復興計画の中で安全、安心なまちづくりを実現してほしいと思います。

4番 回答

回答1 ポンプ施設は各ポンプ場に複数台設置されており、雨量の大小に応じて稼働しているという状況です。ポンプ場はある程度整備されていますが、遊水池が整備されていないことが、今回被害の要因のひとつだと思います。

5番 意見者

質問1 遊水池の必要性は理解できますが、整備には時間も費用もかかると思います。それよりもまず、情報提供が肝心であると思います。今回の雨は夜間であったため、通行等に危険な箇所が多数ありました。このように状況を迅速に把握して、速やかな情報提供をしてほしいと思います。

質問2 今回、現場では下水道マンホールの蓋が下流のほうまで流されていましたが、これはどういうことなのでしょう。

5番 回答

回答1 多賀城市の下水道処理は分流方式といって、雨水と汚水は別々の管で処理していますが、大代にある汚水処理場には上流域である仙台市泉区からも相当の雨水が流入している状況です。そのため、汚水マンホールの蓋が吹き上がったと思われます。

6番 意見者

質問1 今回はそれほど雨量が多くなかったと思いますが、これぐらいの小規模の雨量でこのような被害になるとはどういうことでしょうか。ある箇所では、少量の雨でもすぐマンホールから水が吹き上がっている箇所もあります。

6番 回答

回答1 マンホールから水が吹き上がる箇所について後ほど教えてください。管が閉塞している可能性もあるので、現地を確認させていただきます。

7番 意見者

質問1 平成14年、平成18年にも同じような被害にあいました。降雨量だけではなく、潮位（満潮、干潮）の影響もあるのではないかと思います。市では検証はされていますか。

質問2 私はポンプが動いていなかったと、疑念を抱いています。ポンプの運転履歴などが残っていますか。また、そのような記録が残っているのであれば、十分に検証して今後の対策に活用してほしいと思います。

質問3 私は台風当日、18時頃に市役所に連絡をしましたが、職員の対応はありませんでした。

質問4 津波対策として防潮堤もよいが、堤防を設置することによってさらに水が溜まりやすい結果とならないでしょうか。その辺りも十分に検証したうえで、雨水対策を見据えた復興計画としてほしいと願います。

質問5 下水道の整備進捗状況はどうなのでしょう。原因がどこにあったのかを追求して、説明してほしいと思います。市では、原因究明がされていないのではないかと感じています。また、汚水マンホールが溢れるということは、上流域の近隣市町村からの雨水流入の影響があるのではないかと思います。もし、そうであれば、近隣市町村の協力をいただき鋭意整備を進めてほしいと思います。

7番 回答

回答1 雨水排水施設は、それなりの計画降雨量で設計されているため、少量の雨量でマンホールが吹き上がることはないと思います。今回の台風ではそれなりの雨量があ

ったと認識しています。

また、大雨時の対応は、常に干潮・満潮の時間を把握し、その潮位の影響も考慮したうえで、行っています。

また、ポンプの運転記録は残っています。

今回の台風被害が、過去の冠水と異なるのは、地震による地盤沈下があったことが考えられます。地盤沈下の影響については、国土地理院の地盤沈下のデータを活用しながら、原因究明していきたいと思えます。

また、汚水が溢れる原因は、汚水管に雨水が大量に入ってきているのが大きな原因だと思われれます。

8番 意見者

質問1 今は別の場所に住んでいるが、いずれかは桜木に戻ってきたい意向です。自宅はソニーの周辺になりますが、河川護岸が決壊し、崩れて津波被害にあいました。周辺の下水路は普段から詰まっている状況で、それを解消すべく水を流しているのをみかけますが、その閉塞解消の水で護岸が崩れているのをみました。

護岸工事の対応については、応急復旧だけではなく、早急に対応してほしいと思えます。

8番 回答

回答1 護岸については県管理となりますので要請いたします。下水路の板柵水路については災害復旧で今年度中に対応します。

9番 意見者

質問1 災害公営住宅の入居期限（3～10年）経過後はどうなるのでしょうか。それ以降の心配が無いような住宅を作ってほしいです。

9番 回答

回答1 災害公営住宅入居要件は収入や同居要件は無く、家屋が「全壊」となった方全てが入居できます。また、一定期間経過後は一般の市営住宅として住むことが可能であるため、収入要件、同居要件を満たせばそのまま住み続けることが可能です。

10番 意見者

質問1 仙塩病院の裏の水路が、前回の水害で溢れそうでしたが、直前に設置されているポンプは稼動していませんでした。ポンプ施設があることにより交通安全上の問題があり、交通事故も多い箇所でもあります。ポンプが稼動しないなら、撤去してほしいです。

10番 回答

回答1 ご指摘箇所のポンプは暫定整備したものであり、八幡ポンプ場が概ね整備されたため、現在ではほとんど稼動しておりません。

また、みなさんご指摘の雨水排水計画ですが、多賀城市では10年確率の対応となっております。しかし、近年の豪雨を鑑みて、確率降雨を上げるなどについても再検討をしていきたいと思えます。

1 1 番 意見者

質問1 復興計画には「安全、安心」というキーワードありますが、地震から津波までの約1時間、まったく情報がありませんでした。消防団は巡回したのでしょうか。もし、そうでなければ市として対策してほしいと考えます。危機感をもった対応をしてほしいです。

質問2 砂押川は最終的にどのように修繕されるのですか。修繕（応急復旧）も単なる鉄板1枚での処理で不安を感じます。「安心、安全、笑顔」というキーワードを掲げる以上、万全な対策をとってほしいと考えます。

また、鉄板だと赤錆びた水が道路等に流れ出ています。景観上もきれいではなく、桜木は他地区に比べて立ち遅れている印象があります。

1 1 番 回答

回答1 震災当時、防災広報装置は市内13箇所ありましたが、NTT回線であったため回線集中によりダウンしました。これらの経緯も踏まえ、市では既存13箇所の防災広報装置は廃止し、52箇所の防災広報装置の新設を予定しています。

また、震災時には地域消防団が機能しませんでした。震災により行きたくとも行けなかった状況がありました。

回答2 ご指摘の鉄板はあくまで仮復旧の状態となります。最終的には本復旧される予定です。

また、今後設置する遊水池は景観に配慮した施設を検討したいと考えております。みなさんと一緒に考えていきたいと思っております。

1 2 番 意見者

質問1 防災広報装置ですが、アナウンスが男性の声で、聞き取りにくいと感じていました。聞き取りやすい声でアナウンスしてほしいと思っております。

1 2 番 回答

回答2 今度、新設する防災広報装置のアナウンスは、女性の声でクリアに聞こえるものとする予定です。

1 3 番 意見者

質問1 今回の津波で砂押川の堤防が決壊しましたが、原因は鉄砲水によるものです。堤防強化について県に要望していただきたいと考えます。堤防は単なる復旧ではなく、更なる強固な構造としてほしいです。

質問2 砂押川は干潮時には川底がみえる状態で、泥が溜まっているのがわかります。その分堤防嵩上げの必要があるのではないかと思います。その点は、声高に県に要望していただきたい。

1 3 番 回答

回答1 砂押川堤防決壊の原因は、津波によって護岸の底がえぐりとられたためと聞いています。笠神新橋付近は地盤沈下をしていますが、念仏橋から下流部は港湾と同じ高さで堤防が整備される予定です。まだ、これで満足しているわけではないので、県に対してはさらなる要望をしたいと考えます。

14番 意見者

質問1 津波避難ビルは、桜木・栄地区への設置予定はありますか。

14番 回答

回答1 現在、津波避難ビルについては、民間にご協力いただいている建物も含め、13棟指定されています。今後、さらにご協力いただきたく、候補建物を20棟程度あたっている状況で、そのうち5、6棟程度は目処が立ちそうな状況です。その他については、年度内になんとかしたいと考えております。

15番 意見者

質問1 津波避難ビルは既存の建物を使うだけでは、避難場所の周知不足や震災記憶が薄れるなど懸念されるため、新設で設置する必要があると思う。

15番 回答

回答1 津波避難ビルについては、例えば、災害公営住宅に避難ビルを兼用させるといったことなども検討しています。

16番 意見者

質問1 今回提示されている復興計画案ですが、残念なのは、予算、スケジュール、責任者の記載がないことです。ここを明確にしてほしいと考えます。

また、アンケートやヒアリングを十分に行い、現場目線でみてほしいと思います。

質問2 桜木地区の治安対策として、交番を設置してほしいです。治安対策、防火対策をお願いしたいと思います。

質問3 また、情報提供等について、「ホームページを見てください」と言われてもパソコンが無いので見られない状況です。誰でも情報が得られるようにしてほしいと思います。

質問4 多賀城市では地震の際の発表震度が感覚より小さく感じます。発表震度が小さいのは、なぜか。

16番 回答

回答1 予算は概算で900億を想定しています。スケジュールは復興計画P49以降に記載のとおり、三期区分を予定しています。

回答2 交番設置については、警察へ要望としてあげさせていただきます。

回答3 情報は基本的に広報誌で提供しています。現在、届いていない場合はお帰りの際に職員までご報告をお願いします。

回答4 多賀城市の震度計は市役所周辺の地盤が固い箇所に設置されています。また、四捨五入の影響も若干あると思います。

17番 意見者

質問1 防災無線は昭和44年策定の防災計画で計画されていたはずですが、放置されていたのはなぜでしょうか。市民の避難行動調査について、きっちりと行い、総括すべきではないでしょうか。

質問2 多賀城は原則、現地再建であり、多重防御が計画されているが、出来上がるまでに時間がかかると思います。それまでは大丈夫なのでしょうか。

質問3 今回の多賀城の津波被害は仙台港（掘り込み式）が原因ではないか、という検証はされましたか。想定外だったこと自体、国家賠償法に抵触するのでは。団体訴訟の準備をしているところです。

17番 回答

回答1 実際に多重防御が整備されるまでには時間がかかると思われます。それまでは、防災広報装置等での情報提供で対応したいと考えます。

18番 意見者

質問1 「鎮魂の森」公園は、盛土による避難場所にできるよう整備してはどうでしょうか。また、第七小予定地に高台盛土をして避難地造成をしてはどうでしょうか。

18番 回答

回答1 鎮魂の森は盛土造成することを予定しています。盛土上に防災林を設置し、通常時は公園として活用できるような利用形態を考えています。

19番 意見者

意見 多重防御として、防災林、防潮堤もようですが、不審者対応大丈夫でしょうか。考えてほしいです。また、第七小予定地に避難ビルを作ってはどうでしょうか。

20番 意見者

意見 今回提示された復興計画案は立派な案だと思いますが、これが絵に描いた餅にならぬようしっかり対応してほしいと思います。

また、今回、出席の皆さんの関心事は雨水対策に集中しています。私の周辺でも2～3割は家屋解体していますが、住民からは、台風15号で懲りた・・・という声がありました。私も多賀城に住み続けるかどうか悩んでいます。4月以降仙台に移転しますが、雨水対策さえしっかりしてくれば、できればまた多賀城に戻ってきたいと考えます。震災復興も大事ですが、雨水対策をしっかりしてほしいと思います。

—市民意見交換会④—

平成 23 年 11 月 15 日 19:00～21:30

市民活動サポートセンター 3階

日時	地区	会場	定員	参加者
11月15日(火曜日) 19時～21時	八幡、町前の各区	市民活動サポートセンター	80名	16名

震災復興計画（案）等に対する参加者意見ポイント

- ・ 復旧スピードアップについて
- ・ 多賀城市独自の復興、生活支援施策について
- ・ 地元企業の支援、雇用対策について
- ・ 防災広報装置等の情報伝達手段について
- ・ 災害時の防犯対策、治安維持について
- ・ 災害公営住宅の入居期間について
- ・ ボランティア活動支援について
- ・ 砂押川の堤防決壊要因、堤防強化について
- ・ 幹線水路の整備（ボックス化）について

詳細は以下のとおり。

多賀城市震災復興推進計画（案）等についての意見交換

1番 意見者

意見1 今回の復興計画よりも先ず復旧で頑張ってもらいたいし、まずやるべきことと考えます。その後復興で10年間かけるのは理解できます。例えば、台風時には、排水ポンプが津波の影響で動いていなかったようですが、こうしたことの無いように復旧スピードを上げてほしいと思います。

意見2 復興計画の内容は、政府の方向性、国の考えのとおりすぎるように感じます。多賀城らしく住民目線での復興計画を望みます。例えば、雨水排水路、ルートイン裏から桜木までの水路は、毎年のように工事を行っていますが、何十年も同じことの繰り返しで改善されていないように思える。

また、砂押川に接続の農業用水路について、匂いがひどいため、常にきれいな水を流しておくようにしてほしいと思います。

意見3 また、地元の中小、零細企業に仕事をさせるような対策、雇用対策、商店街の発展など生活に関連した部分で力を入れてほしいと思います。

意見4 我が家は大規模半壊と判定されましたが、修繕・復旧に資金がかかるため、もっと支援を厚くしてほしいです。国の助成金もあるが、十分ではありません。

意見5 復興では国の予算だけに頼らず、多賀城市独自の支援策を実施してもらえないでしょうか。仮設住宅はテレビが付いてくるなど恩恵がありますが、自宅避難者は被災時の買出しなども自分たちでやってきました。もっと、多賀城市独自の支援、義援金の支給など実施してほしいと思います。

いま、西部ではバスが走っているが、市民が困っているのは、それ以外にも買い物、通院に困っている部分がある。以前、市長は買い物難民を助けるということをも明言した。

1番 回答

回答1 生活に密着する部分についてはスピードを上げるということは、もっともなご意見です。復旧等については3年間で実施する予定です。また、雨水対策も重要と考えています。大企業ばかりが復興事業に参画している、という話がありましたが、仮設店舗、商店街の街路灯、商店街の支援などの事業に関しては、地元の中小企業支援となっております。

多賀城市独自の施策については、136事業すべてが国の支援（復興交付金）を活用しないと実施できないというのが実情です。

回答2 バスの件については、12月1日から西部バスを1日6便、仮設住宅を拾うような経路で路線を予定しています。全体のバスルートについては、ここ2年ぐらいかけて市全体のバス路線の検討を行う予定です。

2番 意見者

質問1 防災無線の電源バックアップはどのように考えていますか。

質問2 災害公営住宅は3年経過した場合、家賃はどうなりますか。

質問3 有効なエネルギーとはどのように考えますか。

質問3 職場から震災翌日に自宅に着きましたが、姫路ナンバーのトラックが略奪行為をしていました。こういうこともあるので、復興計画の中では災害時の防犯体制についても考えてほしいです。

質問4 石巻では病院が被災しました。多賀城では、津波被害にあわない位置に病院を作ってヘリポートを設置すべきではないでしょうか。市立病院を建設し、災害時の人命救助を行うなどの考えはないでしょうか。

質問5 今すぐには家を再建できないので実情です。災害公営住宅の入居期間を超えた場合、家を再建することになりますが、1階は非居住、2階以上に住宅とした場合、かなりの費用がかかるため、そのための助成等はありませんか。市民が多賀城市に残るような施策はありませんか。

質問6 用水路は埋めること（暗渠に）はできないのでしょうか。子供の転落の危険性があることと、匂いなど衛生的にもよくありません。

2番 回答

回答1 防災無線の電源対策についてですが、市役所等の公共施設は非常用電源で対応する予定です。また、その他防災広報装置は120時間のバックアップが可能となります。

回答2 防犯対策としては、数日後、消防団がパトロールを行っていました。今後予定している地域防災計画で防犯対策について検討していきたいと思います。また、防犯対策連携協議会にて問題提起、議論していきたいと思います。

回答3 臨海鉄道西側については、コクリート構造物で設計中です。

回答4 家賃低廉は国に基準が見直しされ10年間と延長される見込みです。それ以降は一般の公営住宅と同じ収入基準となります。

回答5 エネルギーについては、様々なことを検討しています。これからも検討を続けていきたいと思います。公営住宅のスペックについては、入居される方と話し合いの上、決めたいと思いますが、避難ビルや集会所、防災施設を兼ね備えた施設として考えます。

回答6 病院の件について、多賀城には仙塩病院が総合病院としてありますが、下馬地区には既に高台に総合病院があります。病院は圏域で考えるため、今のところ市立病院の新設は考えていません。

回答7 再建支援については、国の支援制度や低利な融資などがあります。社会福祉協議会と連携しながら検討を進めたいと考えます。

3番 意見者

質問1 今回の津波では砂押川の遊水池がどのように機能したのでしょうか。検証したのでしょうか。

質問2 国、県、市、それぞれがやることをわかりやすく説明してほしいです。

質問3 情報伝達手段として防災無線では限界があります。もっと経済的にアナログ的にやる方法はあると思いますが、いかがでしょうか。

質問4 水路が溢れて水害の元になっていると感じます。ボックスカルバートに切り替えることも計画に明示すべきではないでしょうか。

3番 回答

回答1 防潮堤については、第一堤は県で施工、河川堤防は県管理、第二堤も県、産業道路については県施工で、それ以外は多賀城市が担当することになります。スケジュールとしては、明確にできませんが、国の考え方では5年以内に復旧することとなっています。今後、県への要請事業を進めていきたいと考えます。

回答2 ボックス化については現在検討中ですが、整備時期までは明言できません。

回答3 砂押川の遊水池について、3月11日は砂押川を津波がさかのぼってきましたが、遊水池までは到達していません。9月21日の大雨時には勿来川の遊水池に越流堤を超え流入したので、効果はあったものと考えます。

回答4 今回52箇所に防災無線を設置する予定ですが、そのうち6箇所にはモーターサイレンを設置予定です。津波被害地や川に近い地域には聞こえる予定です、大まかなエリアとしては、概ね中央から東部地域対象となる予定です。

4番 意見者

質問1 防災無線は震災以前に、聞こえない、内容が聞き取りにくい、増設を要望しましたが予算の都合上増やせないと言われました。このときとは、状況が違うということでしょうか。また、無線だと窓を閉めていると聞こえないため、各家庭に受信機を配置する方法もあるので検討してほしいです。

質問2 先月でボランティア活動が終わりましたが、周辺では撤去工事にかかっていない住宅がたくさんあります。ボランティアなど支援がないとガレキ処分ができないと思います。今後もボランティアなど支援が必要と考えます。

質問3 国道北側、臨海鉄道側に井戸がありますが、流下先が無いと聞きました。どうなっているのでしょうか。

質問4 多賀城市では中心商店街がありません。まちづくりの中で町並みや〇〇ストリートといった繁華街は無くてもよいのでしょうか。

4番 回答

回答1 これまでの無線はNTT回線だったため、回線が集中するとパンクしていました。今後は、被災地域を中心に52箇所に防災無線を設置する予定で3月に完成する予定です。受信機については、50機を公共施設（学校）等に配置予定だが、予算が不足しており全戸配布などの対応ができないのが実情です。しかし、コミュニティFMの活用も検討する予定です。

回答2 ボランティアは社会福祉協議会が窓口になっています。申出者が減ってきたこともあって、「ささえあいセンター」として高齢者世帯の支援を行っているという状況です。今後、ニーズがあったことを社会福祉協議会に申し伝えておきます。

回答3 井戸については、具体的に場所を確認したいので、教えてほしいです。後ほど現場確認させていただきます。

回答4 商店街の件では同様に考えています。今回の震災復興では駅前を中心に中心市街地活性化を盛り込んでいます。商店街の繁栄については、経済状況に左右されます

が、基本的にはその方向性で進んでいるということでご理解いただきたいと思います。

5番 意見者

質問1 砂押川の決壊は津波が原因でしょうか。堤防の強度の問題でしょうか。検証はできていますか。津波の経路がどういう経路だったのか、いまでなくともよいので説明してほしいです。

5番 回答

回答1 堤防の決壊は地震で堤防に円弧すべりが発生し、津波で破壊したと聞いています。砂押川は念仏橋、貞山運河については現況高さにすりつける方向で検討していることです。

6番 意見者

質問1 防潮堤はこれほどたくさんつくる必要があるのでしょうか。1本の堤防高を高くして本数減らすべきではないでしょうか。

質問2 宅盤の盛土、嵩上げ範囲を広げるべきと考えます。今後の対策で検討してほしいです。

6番 回答

回答1 防潮堤を高くすると日照被害などがあります。交差点部は塞げないので、ガレキを止める、勢いを減らすことが主な目的です。

回答2 砂押川の修繕については、宮城県に対して嵩上げ要望を出していく予定です。

—市民意見交換会⑤—

平成 23 年 11 月 18 日 14:00～16:30

山王地区公民館 3階

日時	地区	会場	定員	参加者
11月18日(金曜日) 14時～16時	山王、南宮、新田、高橋の各区	山王地区公民館	60名	20名

震災復興計画（案）等に対する参加者意見ポイント

- ・ エネルギー循環型都市に向けた環境整備について
- ・ 津波到達点表示などによる、震災を風化させない考えについて
- ・ 数多くの事業実施に係る財源について
- ・ 宮城県沖・利府などの断層による地震への対策について
- ・ 防災無線の設置の要望について
- ・ 災害公営住宅への入居条件及び立地場所、優先的整備について
- ・ 6次産業化促進について
- ・ 陸前山王駅のバリアフリー化の可能性について
- ・ 多賀城市の西部の地域における被害状況について
- ・ 七北田川の整備及び七北田川にかかる橋の復旧について
- ・ 工業地帯の企業意向について
- ・ 仙台市方面へぬける道路の整備について
- ・ 三陸縦貫自動車道に隣接する道路の整備及び道の駅について
- ・ 山王陸橋の整備時期について
- ・ ガレキ置き場に係る地域生活者への事前説明の実施要望について

- ・ 遊水池における除草作業について
- ・ 砂押川の浚渫要望について

詳細は以下のとおり。

多賀城市震災復興推進計画（案）等についての意見交換

1番 意見者

質問1 エネルギー循環型都市に向けた環境整備とありますが、具体的にはどのようなことを考えられているのでしょうか。

質問2 今回の津波到達点を表示するなど、震災を風化させないことはできないでしょうか。

1番 回答

回答1 エネルギー循環型都市ですが、具体的な事業は今後となりますが、工場地帯の中でのエネルギー循環をと考えています。

回答2 震災を風化させないためにも、語り部などに寄って伝承していくことが必要と考えています。

2番 意見者

質問1 非常に多い事業となっています。豊かな財政ではないと思いますが、どの程度の事業費となることとしているのか、そして、増税もあるのでしょうか。

質問2 今回の津波に対応できるようと言われましたが、宮城県沖や利府などの断層をもとにした震災にはどうなのでしょう。

2番 回答

回答1 今後精査していくことが変更されると思いますが、現在、約900億円くらいかかることが予想されます。ただし、復興交付金などの国が用意する1兆数千億の支援をもとに実施していくこととしており、国などと協議してまいります。

回答2 地震予知連の検討などでいろいろ出ていますが、津波だけでなく、木造家屋の耐震性を強化するために、まず診断を受けていただき、耐震化を図っていくようお願いいたします。

3番 意見者

質問1 有線放送が必要だと思えます。七ヶ浜町はその放送により避難したと思う。

3番 回答

回答1 有線放送ということですが、七ヶ浜町は防災無線で行っています。多賀城市においても市内52箇所、西部には11箇所一斉放送できるものを年度末までに導入し

ていくこととしています。

4番 意見者

質問1 災害公営住宅ですが、仮設入居の人も民間借上げ入居の人も同等であるか。

質問2 農業者としては、6次産業化が気になります。どこでやる予定なのでしょう。

質問3 多賀城駅ばかりでなく、陸前山王駅も追記をお願いしたい。駅周辺の道路が狭く、鉄道駅についても仙台に向かうためには、エレベーターのない橋を越えていくこととなり、足の弱い両親などは一度国府多賀城駅に行き、エレベーターで仙台方面に乗り直しているの、是非エレベーターの整備などをお願いしたい。

4番 回答

回答1 災害公営住宅については、全壊の方を対象としているのみで、仮設、民間借上げの方も同等であります。

回答2 6次産業化については、行政が実施するのではなく、民間事業者により行ってもらうように考えています。

回答3 バリアフリー整備については、5千人/日の乗降客が必要とされています。陸前山王駅については、1千人/日程度と現状では難しい状況にあります。

5番 意見者

質問1 西部地域の被害状況は分かりますでしょうか。

質問2 七北田川の対策が入っていないようですが、現地では堤防に亀裂が入っているなどしています。

5番 回答

回答1 多賀城市全体の被害については、復興計画に記載させていただいていますが、西部のみの詳細なものは今回は持参していません。

回答2 七北田川については、県管理となっておりますので、県に働きかけていくとともに、その整備については復興計画よりも地域防災計画でふれていくことを予定しています。

6番 意見者

質問1 企業の意向について、辞めるといっている企業が全てではないと思うが、残りは何んと言っているのでしょうか。

質問2 6次産業化の規模はどの程度であるか。

6番 回答

回答1 辞めると回答した企業以外は、規模縮小などにより継続していくこととしていますが、今後、復興特区制度を活用するため、地元企業などと協議会を設置していくこととしています。

回答2 6次産業化は民間によるものとしていますが、稲作だけでは6次産業化促進が難しく、畑作への転換や農業従事者を招くための対策を講じていくことが必要と考えられています。

7番 意見者

質問1 地震の際には市の職員の方にお世話になりました。感謝いたします。七北田川にかかる橋の整備は多賀城市ではないと思いますが、どうなるのでしょうか。

質問2 避難路や交通の便を良くするための城南に抜ける道路と言うことであったが、仙台市に抜ける道路も都市計画決定されていますが、この整備はどうでしょうか。

質問3 七北田川の災害時の避難情報などはどのように考えられていますか。

7番 回答

回答1 橋については、地震によりすれが生じています。管理者の仙台市では、来年の5月くらいには整備が完了するとしています。

回答2 仙台市に抜ける東西道路を整備するためには、整備時に橋を付け替えるための迂回路が必要となります。このため、南宮北福室線という西部を南北に縦断して仙台市に抜ける道路を整備した上で実施することとなります。

回答3 七北田川の防災対策は、消防団員・消防署・市の職員で対応しております。また、市内に設置する防災無線52箇所の内、七北田川沿いに3箇所防災無線を設置する予定としています。

8番 意見者

質問1 災害公営住宅の場所は、そして中高層とは何階なのでしょう。スーパーなどが近いなどの立地も必要と思いますが。

8番 回答

回答1 災害公営住宅は被災した地域においてと考えていますが、整備については土地を購入しなければならないため、まだ確定した場所はありません。また、可能な限りスーパーや駅などの近い場所を考えていきますが、土地の購入状況によってきます。公営住宅についてはエレベーターが設置されることとなります。今後は、避難ビルも兼ねることとなりますので、あまり高いものは想定していません。

9番 意見者

質問1 復興計画については、理解させていただきました。中でも災害公営住宅の整備は優先性を高めて欲しいです。

質問2 6次産業化については、土地改良などが必要ではないかと思っていますが。

質問3 三陸自動車道の西側の道路も拡幅して欲しい。

質問4 防災無線の話がありましたが、飛行機など上空からもやってはどうか。

質問5 道の駅については、記載されないのでしょうか。

9番 回答

回答1 災害公営住宅については、要望として承ります。

回答2 6次産業化については、農業者を交えて検討していきたいと思っています。

回答3 多賀城インターチェンジの整備がはじまれば、周囲の道路整備もあわせて実施していきたいと思っています。

回答4 防災対策は無線のみではなく、多チャンネルでと考えています。

回答5 道の駅については、現在庁内で記載するか検討しています。

10番 意見者

質問1 県主催の防災会議に多賀城市長が参列しなかったと聞くがどうしてか。

10番 回答

回答1 市長の代理が参加し、県に対して多賀城市の主張は報告させていただいています。

11番 意見者

質問1 山王陸橋はいつ頃までかかるのでしょうか。

11番 回答

回答1 山王陸橋は震災前から耐震性に課題があったため、工事着手している間に震災がありましたので、元々の整備にあわせ復旧も実施している状況であり、来年の夏以降には開通する予定です。

12番 意見者

質問1 今まで浸水していなかったところで浸水した。台風前日に遊水池での除草した草が残っていたと聞くがどうか。

質問2 ガレキの置き場であるが、近隣の市民には置くことを事前に説明があっても良いのではないか。

12番 回答

回答1 遊水池については、除草した草が排水の邪魔をした可能性もありますので、お詫び申し上げます。

回答2 ガレキについては、事後報告や事後説明となり大変申し訳ございませんでした、今後は、事前に説明させていただくようにいたします。

13番 意見者

質問1 砂押川のスムーズな流れのため、浚渫をお願いしたい。結構流れなくなっているところがある。

質問2 遊水池にうまく水が入っていないように感じる。

13番 回答

回答1 砂押川の浚渫については、県へ依頼いたします。

回答2 遊水池に適切な水が流れるよう原谷地川などからの誘導などを検討してもらうよう県に要望いたします。

—市民意見交換会⑥—

平成 23 年 11 月 18 日 19:00~21:30

市民活動サポートセンター 3階

日時	地区	会場	定員	参加者
11月18日(金曜日) 19時~21時	鶴ヶ谷地区、地区指定無し	市民活動サポートセンター	80名	11名

震災復興計画（案）等に対する参加者意見ポイント

- ・ 減災としての避難道路の考え方について
- ・ 逃げるまでの時間について
- ・ 鉄塔下の活用について
- ・ 砂押川の整備箇所及び浚渫要望について
- ・ 避難を契機とした町内会のつながりについて
- ・ 避難ビルの設置箇所について
- ・ 地震による地盤沈下について
- ・ 電柱などを活用した津波到達点の表示要望について
- ・ 多賀城駅周辺の整備内容について
- ・ 現地再建及び現地再建の際の盛土について
- ・ 遊水池における除草作業について

詳細は以下のとおり。

多賀城市震災復興推進計画（案）等についての意見交換

1番 意見者

質問1 減災として、避難のための道路と言うことでしたが、宮内地区からはどのような道路整備をと考えているのか。

1番 回答

回答1 道路のみでなく、一定の高い建物などを活用した避難ビルの設置をと考えています。

2番 意見者

質問1 今回の津波が地震発生から40分後と聞いている。これがスタンダードだと考えると危険である。

質問2 東北電力の鉄塔下を活用するようであるが、鉄塔はあまり強固でないが。

2番 回答

回答1 40分をスタンダードと考えていません。警報が鳴ったらすぐに避難するということを周知・教育していきます。

回答2 鉄塔については、東北電力と現在協議を進めている状況にあります。

3番 意見者

質問1 総合治水ですが、砂押川の笠神新橋より下流のみでしょうか。鎮守橋の当たりの水位がおかしい。

3番 回答

回答1 管理者は宮城県であります。復旧工事は笠神新橋より下流となっておりますが、鎮守橋付近については後日現地確認に伺わせていただきます。

4番 意見者

質問1 砂押川の浚渫も計画に盛り込んではいかがでしょうか。

4番 回答

回答1 県に要望させていただきます。

5番 意見者

質問1 町内会のコミュニティのあり方を考えていただきたい。

5番 回答

回答1 今回の震災を踏まえ、市民、行政それぞれが振り返り検証することが必要と考えています。何ができて何ができなかったか、どうコミュニティを再生・形成していくかなども事例を提案し考えていきたいと思えます。

6番 意見者

質問1 避難ビルは具体的にどこに立地するのか。

質問2 地盤はどの程度沈下したか知りたい。そして、逃げ遅れたときなどのことを考え、電柱などを活用して津波到達点を表示して欲しい。

6番 回答

回答1 避難ビルは民間ビルなどで11箇所あります。現在協議している所などもあり、早い段階で公表していきたい。

回答2 地盤沈下利用は、国土地理院が衛星を使用して高さを確認しています。年度内には公表できると考えています。津波の高さについては、避難所の表示などの標識も考えていきます。

7番 意見者

質問1 駅南の歩行者整備とは。

7番 回答

回答1 旧長崎屋と鉄道との間の道であります。

8番 意見者

質問1 現地での再建とされていますが、宮内では怖い。国の事業ではダメかもしれないが、移転先を用意してもらうことはできないのでしょうか。

質問2 現地に残る場合においても、盛土するなどの対応はできないか。

8番 回答

回答1・2 宮内の整備については、地元の話の後日伺います。

回答2 砂押川の指定がどこまでの区間であるか確認して、ご報告させていただきます。

9番 意見者

質問1 国府多賀城駅周辺で台風の時、浸水したが、いろいろ対策されての場所であったと思うが、ポンプ場は稼働していたのでしょうか。また、前日除草していた草が放置されていたと聞くがどうか。

9番 回答

回答1 ポンプ場については、まだ計画事業が完全に完了している状況ではありません、幹線水路も一部未整備となっています。除草については、台風当日も現場を確認をしきれておらず申し訳ございませんでした。